

こあら組

— 2学期の目標 —

- ◎ 身の周りの始末など自分でできることを自分でしようとするとともに、できることに喜びを持つ。
- ◎ 様々な季節の行事に参加しながら、身体を動かす楽しさや友だちと一緒に過ごしたり遊びを楽しもうとする。

— 活動内容 —

おいで！

(健康な心と体, 協同性, 道徳性・規範意識の芽生え, 思考力の芽生え, 言葉による伝え合い, 数量や図形, 言葉による伝え合い)

- ・自由遊びの時間になると、近くにいる友だちに「おいで！」や「一緒に行こう？」など一緒に行動し、おままごと等同じ遊びを楽しもうとする姿が見られる。
- ・じゃんけんに興味を持ち始め、同じ机のグループの友だちとルールにこだわらず楽しんでいる。
- ・遊具や玩具の貸し借りの中で、「〇〇くんも遊びたい」「10数えたら交代だよ」と、自分なりに言葉で伝えることやルールを伝えようとしている。
- ・運動会を期に、曲を流すと友だちと一緒に嬉しそうに踊る姿が見られる。
- ・お休みの友だちがいる時は、「〇〇ちゃんは？」「△人お休み？」と聞き、数字に興味が出てきた。
- ・異年齢のクラスの友だちに興味を持ち始め、一緒においかけっこでおもいきり走りながら、身体をたくさん動かして楽しんでいる。



自分でできるよ！

(健康な心と体, 自立心, 協同性, 道徳性・規範意識の芽生え, 言葉による伝え合い)

- ・タオル掛けやズボンの着脱を自分でしようとしている友だちにやり方を伝えたり応援をする等、自分なりに言葉や思いを伝えていた。
- ・三輪車やジャングルジムに興味を持ち始め、たくさん練習をして遠くまで漕げるようになってきたり、一段目まで登れるようになってきた。
- ・自分ですることにこだわりを持ち、ズボンの着脱や給食など最後まで自分でしようとする。全部食べ終わると、嬉しそうに保育者にお皿を見せる。
- ・12月から、廊下ではなく、トイレ内で衣服の着脱を始めたところ、一人でできるようになってきた。友だちの自分でしている姿を見て、しなかった子どもも自分からしようとするようになってきた。
- ・難しいパズルに挑戦するようになり、一人で集中しながら完成するまでやり遂げることが増えてきた。



— 2学期の反省 —

- ・身の回りのことを自分でしようとし、パンツやズボンの着脱はほとんどの子どもが自分でできるようになってきた。
- ・かけっこや身体を動かすような遊びより、砂遊びやおままごとなどの遊びを楽しむ子どもが多かった。身体を思いきり動かせるような活動や遊びを取り入れて、身体を動かす楽しさも味わえるようにしていきたい。

— 3学期の目標 —

- ◎ ルールのある遊び等、友だちと関わりながら様々な遊びを楽しむ。
- ◎ 一人ひとりの発達に合わせながら、トイレトレーニングや衣服の着脱等自分でできることを増やし、自信を持てるようにする。